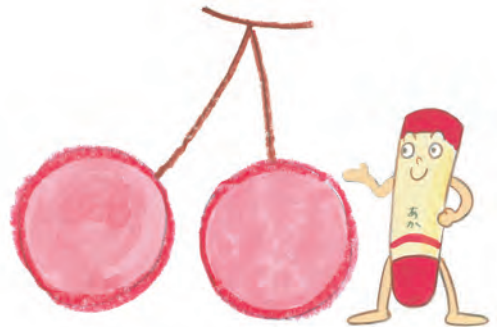


目次

- 1 はじめのうた
- 2 季節のカード (味覚編)
- 3 あそびうた ぐるぐる
- 4 今月の詩 しゃぼん玉 野口雨情
- 5 たし算 4の段
- 6 ことわざ よしのずいから天井をみる 旅は道連れ
石橋をたたいて渡る 一寸先は闇
- 7 かけ算 5の段
- 8 俳句 小林一茶 山口素堂 松尾芭蕉
- 9 かぞえうた 1通 1挺 1領 (手紙、はさみ、鎧)
- 10 なぞなぞ
- 11 手あそびうた きらきらぼし
- 12 音の絵本 アブラゼミ ミンミンゼミ ツクツクボウシ
クマゼミ ヒグラシ
- 13 イメージストーリー リード君 (第4話 学校)
(イメージしてみましよう)
- 14 今月のうた あいさつのうた
- 15 おはなし ねずみの嫁入り
- 16 童謡 しゃぼん玉
- 17 漢詩 鹿柴
- 18 百人一首 三条院 皇嘉門院別当 前大僧正慈円 在原業平朝臣
- 19 復習コーナー
- 20 暗示 (静かなところで目を閉じて聞きましょう)

《ぐるぐる》

<small>あか</small> 赤いクレヨンとびだして	まるまるまると	サクランボ
<small>あお</small> 青いクレヨンとびだして	まるまるまると	<small>あめ</small> 雨がふる
<small>きいろ</small> 黄色いクレヨンとびだして	ばつばつばつと	いなびかり
<small>みどり</small> 緑のクレヨンとびだして	ばつばつばつと	はっぱだよ
<small>ちゃいろ</small> 茶色のクレヨンとびだして	ぐるぐるぐると	かたつむり
<small>だいだい</small> 橙クレヨンとびだして	ぐるぐるぐると	おひさまだ



しゃぼん玉^{だま}

のぐちうじょう
野口雨情

しゃぼん玉^{だま} とんだ 屋根^{やね}までとんだ
屋根^{やね}までとんで こわれて消^きえた

しゃぼん玉^{だま} 消^きえた 飛ば^とずに消^きえた
うまれてすぐに こわれて消^きえた

かぜ かぜ ふ 吹くな しゃぼん玉^{だま} とばそ



ことわざ

よしのずいから天井をみる

自分の狭い見識で、広い世界のことについて勝手な判断をくだすこと。



旅は道連れ

旅は一緒に旅する人がいると心強く楽しい。この世を生きていくのも、助け合っていく方が楽しい。



石橋をたたいて渡る

非常に用心深いこと。



一寸先は闇

これから先にどんなことが起こるかは、まったく予知することができないこと。



俳句

なつやま ひとあし うみみ
夏山や 一足ずつに 海見ゆる

こばやし いっさ
小林一茶



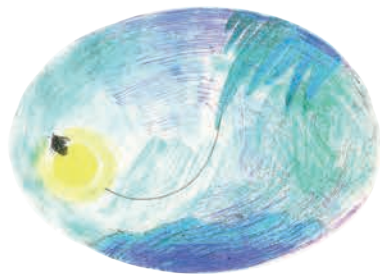
めには あおば やま はつ
目には 青葉 山ほととぎす 初がつお

やまぐち そどう
山口素堂



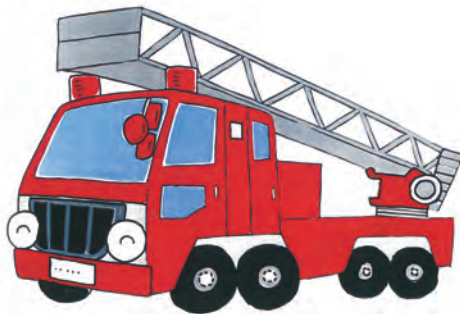
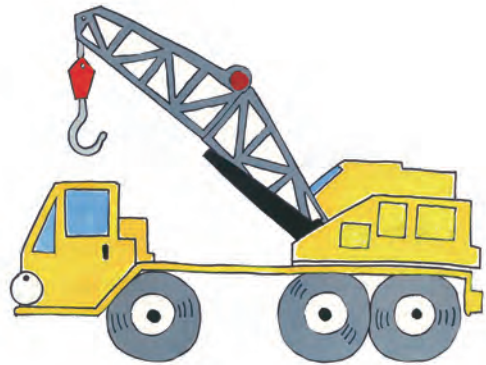
くさは お と ほたる
草の葉を 落つるより 飛ぶ 蛍かな

まつお ばしょう
松尾芭蕉



なぜなぜ

- 1 みんなの^{あんぜん}安全を^{まも}守っている^{くるま}車はなに？
- 2 ^{おも}重いものを^{たか}高いところに^{ちからも}つりあげる、^{ちからも}力持ちの^{くるま}車はなに？
- 3 ^{かじ}火事を^け消すために、^{いそ}急いで^{はし}走る^{くるま}車はなに？
- 4 もぐらのように^{じめん}地面の^{した}下を^{はし}走る^{もの}乗り物なに？



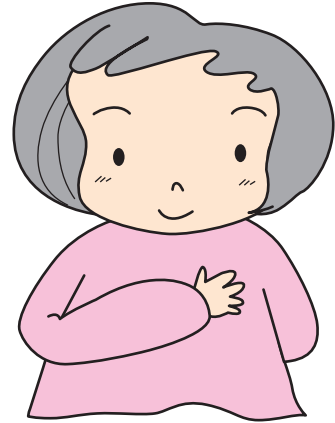
《きらきらぼし》

- ① きらきらひかる
- ⑤ まばたきしては
- ⑨ きらきらひかる

- ② おそ
- ⑥ みんな
- ⑩ おそ



手をきらきらさせる
(⑤のときは、手をグーパーさせる)



みぎ手をむねにあてる

- ③ らの
- ⑦ なを
- ⑪ らの

- ④ ほしよ
- ⑧ みる
- ⑫ ほしよ



ひだり手もむねにあて
クロスさせる



からだをゆらす

音の絵本

こんげつ
今月は、いろいろなセミの鳴き^な声^{ごえ}です。

- 1) アブラゼミ
- 2) ミンミンゼミ
- 3) ツクツクホウシ
- 4) クマゼミ
- 5) ヒグラシ



アブラゼミ



ヒグラシ



クマゼミ



ミンミンゼミ



ツクツクボウシ

《あいさつのうた》

おはよう！ こんにちは！ こんばんは！
あいさつすると 気持ちがいいね

朝 元気に 言おう おはようございます
みんながおでかけ お見送り いってらっしゃい
帰ってきたら おでむかえ おかえりなさい
おそらの お日様 こんにちは
よる パジャマに着替え おやすみなさい

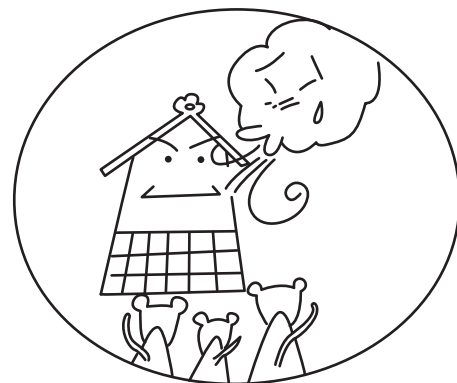
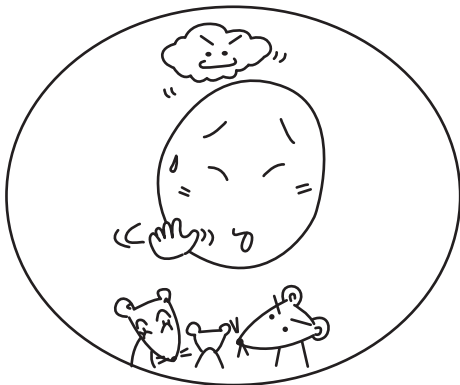
あいさつは みんなの顔を すてきにさせる
不思議な力を もっている





「ねずみの嫁入り」は、ねずみの親子のお話です。
お話を聞いた後で、質問にこたえてみましょう。

- 1 ネズミのお父さんとお母さんは、娘に何をみつけてあげようとおもいましたか。
- 2 ネズミのお父さんは、どこへ行きましたか。行った順に答えましょう。
- 3 雲と風では、どちらがえらいと言ったのですか。
- 4 それは、どうしてですか。
- 5 結局、一番偉いのは、誰だったのでしょうか。



鹿ろく

柴さい

王おう

維い

空山くうざん 人を見ず
但だ 人語じんご の響ひびくを聞きくのみ
返へん景けい 深林しんりん に入いり
復また 青苔せいたい の上うえを照てらす



心にも

あらで憂き世に ながらへば
恋しかるべき 夜半の月かな

(三条院)

難波江の

蘆のかりねの ひとよゆゑ
みをつくしてや 恋ひわたるべき

(皇嘉門院別当)

おほけなく

憂き世の民に おほふかな
わがたつ 杣に 墨染の袖

(前大僧正慈円)

ちはやぶる

神代もきかず 竜田川
からくれなゐに 水くくるとは

(在原業平朝臣)



三条院